

TDM 交通需要マネジメント

資料-4

国土交通省関東地方整備局・
東京都都市計画局作成

需要の調整

既存道路容量の回復

- ・ 駐車マネジメントの推進
- ・ 道路交通システムの高度情報化

自動車利用からの転換

- ・ 乗り換え利便性の向上
- ・ 自転車活用方策
- ・ パークアンドライド

自動車交通の抑制

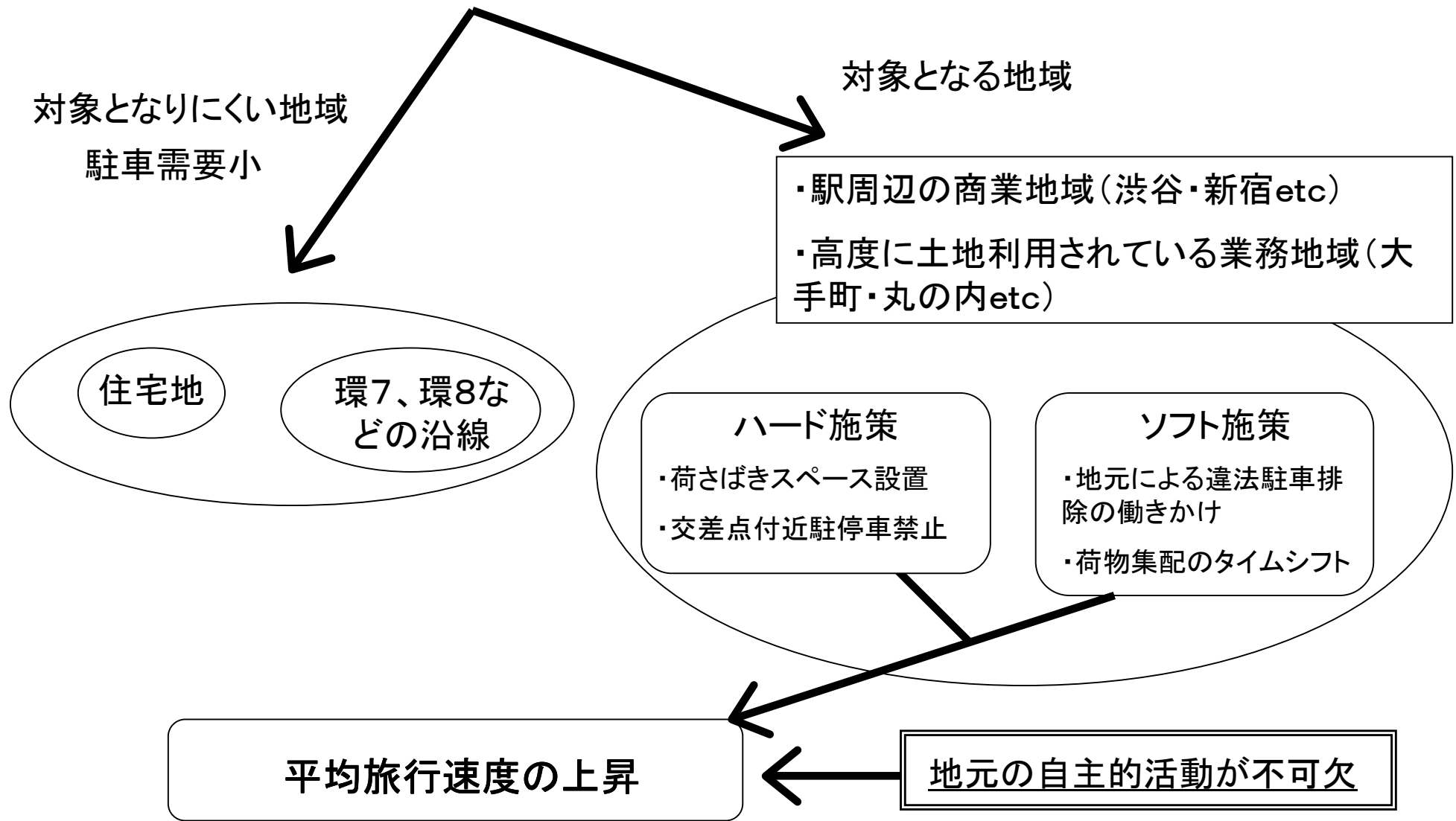
- ・ ロードプライシングの導入
- ・ 企業所有者の自宅持ち帰り自粛
- ・ 物流対策

容量の拡大

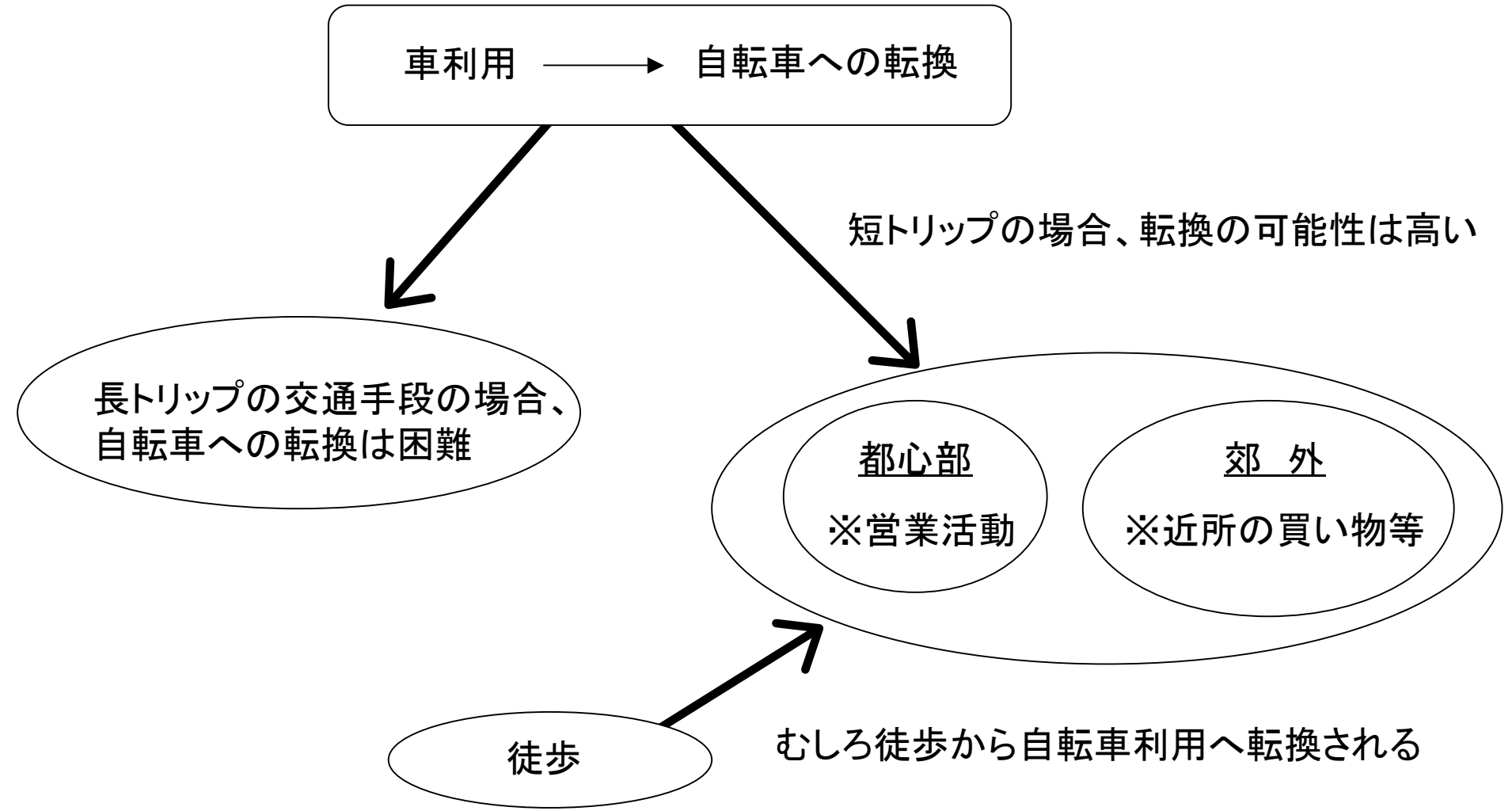
新たな整備

- ・ 道路、公共交通機関の整備

● 駐車マネジメントと端末物流(荷さばき)

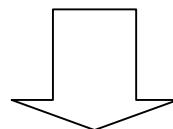


● 自転車利用への転換



●パークアンドライド

渋滞の端末付近・鉄道駅付近に駐車場が必要



- ・適地を選定中
(対象とする道路、代替公共交通機関、駐車施設)
- ・一部試行中

●ロードプライシング

特定の区域へ進入する場合に課金

公共交通機関への転換や自動車利用の効率化を促し交通量を抑制

4つのケースで検討・効果試算
((東京都ロードプライシング検討委員会))

区部平均旅行速度の上昇
0.7~1.8 km/h

《実施による予測される影響》

1. 迂回交通
迂回路となる道路の沿道環境悪化
2. 境界線近傍付近
課金開始前の駆け込み、課金終了待ち
課金を避けるための路上駐車
3. 公共交通機関
自動車利用からの転換で混雑増
4. その他
都民生活、事業活動、物価

対応策

- 沿道環境対策
環状方向の道路整備
- 駐車対策等
- 輸送力増強等